



津 奈 木

前より

発行所
津 奈 木 公 民 館
芦 北 郡 津 奈 木 町
電 話 (78) 3111 (代)
印刷所 旭 印 刷
電話(水俣) 64101番

喜びにあふれる ピカピカの一年生 (赤崎小学校)

ほくも、私も一年生だ。新しいランドセルを背中に、希望に満ちた目は輝いている。はじめての学校生活に心はずみ、期待と不安が交錯していることだろう。

これからは何でも自分でしなければならぬ。そして集団生活に早く溶け込み、楽しい学校生活を送ってもらいたい。

勉強に、運動に頑張つて身も心も一段と成長していくことを願っている。

一千一世紀を担つて、将来活躍するであつて、この子等の前途に幸多かれと祈り、みんなですっかり見守つてあげたい。

言葉づかい

「お早ようございます。ご主人はいらっしゃいますか。」

「いいえ、今日は水俣に行きなかつたです。」

「お元気でしようか。」

「はい。お元気にしとんたつてすばい。」

この会話は、どこか変だと思いませんか。自分の家族のことを、何気なく丁寧に言う人を見受けまふ。その他、他人の名前を呼ぶ時、「A子」とか「あそこのB君は」とか、呼び捨てにして、自分の子どもや家族の名前には、平気で「うちのCちゃん」とか、「Dさん」とか言う人もいます。

自分の子どもや家族は、可愛いし、大事でしょうが、身内の人のことを他人に話す時は、「〇〇は〇〇しています。」

「〇〇は〇〇です。」

とか、普通の言葉で話し、他人のことを話す時は、津奈木の良言葉(敬語)をつかうのが、礼儀ではないでしょうか。

まとめますと、人にお話しする時自分の家族や近親者のことには敬語をつかわない。よその人のこととお話しする時には、丁寧な言葉をつかう。そうすることにより、良い言葉づかいになると思ふのですが如何でしょうか。

一言

平成4年度 町民体育祭日程表

町民体育祭(5種目)の日程が下記のとおり決定しました。

(町民皆スポーツ運動にご参加下さい。)

大会名	期 日	会 場
男子ソフトボール大会	5月17日(日)	総合グラウンド
女子ミニバレーボール大会		B&G体育館
野 球 大 会	8月13日(木) 14日(金)	総合グラウンド
競 舟 大 会	8月15日(土)	大 泊 漁 港
陸上競技大会	10月10日(土)	総合グラウンド



庁舎美術館(41)

油彩「作品」1967 境野一之 作

坂を登りきると、目の前に広がる紅色の風景……。アルパムの一枚の写真のように、遠い日の記憶を呼びさます……。遊び疲れ、家路を辿る道、思わず足を止めて見入った風景……。空も海も、ひとつの色に染めて沈んでゆく夕陽……。船のシルエット、刻々と姿を変える干潟の模様……。すべてのものがひとつに溶けあつて、錦の帯を織りなしていた。……。あの故郷の風景に似て……。

給食センター落成



最新式の機械を導入、ドライシステムの明るくて、広々としたすばらしい給食センターが落成しました。

ウェットシステムから、ドライシステムへ変つて、重い防水前掛け、ゴム長靴が不要となり、軽快な服装で作業ができるようになりました。

給食センター職員一同は、「初心忘るることなかれ」を胸に、刻み、幼稚園、小学校、中学校の子どもさんたちが、喜んで食べて下さる給食、絶対に食中毒をおこさないをモットーに、真心をもって、意欲と情熱を傾け、一層



の努力を積み、心を引き締めて頑張つて参ります。

衛生、労働環境改善の上から、今後、ドライシステムが普及していくものと思ひます。

町長様はじめ、ご苦勞下された多くの関係の方々に、給食センター職員一同、厚くお礼申し上げます。誠に有難うございました。

給食センター 松本富美

編集後記



文化センター初の主催事業 おしゃべり音楽会

去る四月五日、マンドリンとギター、おしゃべりを組合わせて「町民の方に足を運んで貰うにはどうしたら良いだろうか。日頃聞く機会のないマンドリンの音色を、気軽な気持ちで楽しんで頂くには」と、そんなところから、おしゃべり音楽会にしました。

当日は町内外に多彩な行事がある中、鑑賞して下さい、ご意見も頂きました。これを機に小さな町でもそれなりの文化活動が出来る方向が見え、特に、本町の彫刻と音楽を結んだあり方を展開しつつ、親しめるホールをめざしたいものです。

▼四月は夫々の皆さんのスタートの時期であります。入学、入社、新境地への赴任、第二の人生の始まり等、様々な思いをもって新生活がスタートします。皆さん頑張つて下さい。

▼公民館報も一月号と五月号の一面と六面は写真がカラーになります。内容も町内の明るく楽しい話題や各地区での取り組みをできるだけ多く紹介して参りたいと考えています。

▼文化協会の文化クラブ紹介も九月号で終了し、他の分野を掲載することにしています。

町内小中学校 私たちの先生方

津奈木小学校

に力を入れてきました。町当局やPTAのご協力により大きな成果をみる事ができました。



また、花と緑を育てることにより、情操教育と地域に愛される開かれた学校としての備えにも力を入れます。

津奈木小学校紹介

本年も昨年に準じ、「学力の充実」を中心に、基礎・基本の達成に努め、また、基本的生活習慣の確立に全職員で取り組みます。

- 前列右より
- 村上 剛史先生 四年二組
 - 白坂 辰彦先生 四年一組
 - 前田起代子先生 一年二組
 - 江口ヒロ子先生 一年一組
 - 元山 正昭先生 校長
 - 富山 周男先生 教頭
 - 永里 達也先生 六年二組
 - 寺川 芳夫先生 六年一組
 - 三浦 浩先生 五年一組
 - 内田美奈子先生 五年二組
- 後列右より
- 村田十五郎先生 理科専科
 - 農頭 昭勝先生 事務
 - 荒川 雅子先生 二年二組
 - 白石 智子先生 二年一組
 - 寺本 寿子先生 三年一組
 - 橋口重紀子先生 三年二組
 - 齊藤 満先生 すみれ学級
 - 徳富久美子先生 養護
 - 柳迫マサ子さん 学務
 - 森 道子先生 栄養士
 - 村本 健一先生 教務主任

平国小学校



平国小校長 喜多幸夫

四月八日、入学式が終わりしました。これは、学校にとつては卒業式と双璧をなす一大行事です。式辞で、一年生に次の三つのことを話しました。

その一、かしこく。担任及び他の先生方の言いつけをよく聞いて賢い子供になってほしい。

その二、やさしく。思いやり

平国小学校紹介

平成二年一月一日付、特別地域から一級へき地に指定替えになりました。正面に天草郡所浦島を浮かべる不知火海があり、行きかう漁船の音も賑やかに、裏には柑橘園が広がる景勝の地に建つ平国小学校は、学習に最適な場に在ると言えるでしょう。

児童八十九名、職員十二名の小規模校です。

賢、優、健を校訓に、徳、体、知、調和のとれた人間形成をめざしています。平成二、三年度は、自然や人との触れ合いを大切にしたい。勤労生産学習自ら進んで、粘り強く、働き学ぶ平国つ子をめざしてのテーマで文部省指定の研究をし、今年はその定着の年として頑張るつもりです。



- 前列右より
- 津奈木和宣先生 四年担任
 - 淵上 竜一先生 三年担任
 - 金子 勲子先生 教頭
 - 喜多 幸夫先生 校長
 - 新立利恵子先生 二年担任
 - 山下 幸子先生 一年担任
- 後列右より
- 村上 昭子先生 主事補
 - 田中久美子先生 事務職員
 - 坂本 知子先生 養護助教諭
 - 山本 哲朗先生 教務
 - 原 輝智先生 六年担任
 - 宇田美佐子先生 五年担任

赤崎小学校

- 前列右から
- 高鷹 昭治 四年担任
 - 上村 秀樹 教務
 - 津奈木美孝 非常勤講師
 - 栗塚 岩雄 校長
 - 坂本 純男 教頭
 - 田村 紀広 六年担任
- 後列右から
- 辻 道 学務
 - 川上 圭子 一年担任
 - 瀧山 由美 事務職員
 - 長船 洋子 二年担任
 - 田中 文子 養護教諭
 - 古市 康子 三年担任
 - 濱口 尚子 五年担任



赤崎小学校紹介

赤崎小学校は児童数77名で職員数は11名の小じんまりとした学校です。たいへん自然に恵まれ、潮の満干を教室で、職員室で聞くことができます。子どもたちはたいへん純朴で、素直な性格の子ども

津奈木中学校紹介

生徒数二百三十四名、八学級、内特殊学級一学級、職員数十八名、内町職員一名で本年度発足しました。本校の教育目標は、県・町の教育目標を受けて、次のように設定しました。



津中校長 金森 満

この度の定期異動で、袋小学校から参りました。最近の本町は、緑と彫刻のある文化の香り高い行政が行なわれ、うれしく思っております。

文化と教養を身につけた、二十一世紀に活躍するであろう中学生の育成に微力ながらも誠心



前津中校長 山本 茂夫

公民館報編集委員と津奈木中学校長として、三年間務めさせていただき、誠にありがとうございました。精一杯努力したつもりですが、色々十分で済まずに終わったのではないかと反省しています。皆様方には一方ならぬ御厚情御支援を賜わり、特に教

津奈木中学校



自他を敬愛し基本的生活習慣を身につけた心身ともにたくましい人間性豊かな生徒の育成をめざす。

重点目標

- 一、基礎学力の向上
- 一、基本的生活習慣の育成
- 一、自他を大切にする心の育成
- 一、体力の向上と安全教育の強化

- 前列右から
- 松本 広隆 三年二組 理
 - 塘内 正義 三年一組 英・美
 - 船崎真理子 三年学年主任 国・家
 - 金森 満 校長
 - 本山 嵩 教頭
 - 永松 京子 三年副担 美・体・家
 - 和田 邦博 教務主任 国・社
- 中列右から
- 井上 進 二年一組 技・理
 - 田中 理佳 一年二組 音・家
 - 藤本 義人 一年副担 数
 - 田原 正和 一年一組 体
 - 門崎 隆幸 津南学級
 - 松本 秀久 事務
- 後列右から
- 淵上 輝子 非常勤講師 音
 - 藤崎由美子 学務
 - 藤門 幸枝 二年三組 英・社
 - 倉本 栄子 二年二組 社
 - 徳尾恵里子 養護



クサノオウ ケシ科(倉谷)
芦北、水俣地域では田浦町と津奈木町の二カ所に産する

郷土の植物 (3)

(平地の植物)

椎葉 昭二

私達の周りには多くの植物があり、ついつい雑草や雑草と呼び、名も無き草木となる。植物

からすれば甚だひどい言い方で、植物の全てに名前があり、立派な生活史のある育ち方をしているのに。

平地にも、乾燥や湿った土地、肥沃や痩せた土地、硬い柔軟な土地、日陰や日当たりの土地等様々な環境条件の異なる場所に何れにも殆ど存在している。これはいろいろな環境に順応できるからである。道端でよく見かける草には、オオバコ、オニタビラコ、カタ

バミ、カモジグサ、カラスノエンドウ、キンボウゲ、カタバミ、スギナ、スミレ、チカラシバ、チガヤ、トウバナ、ナズナ、ニワホコリ、ハコグサ、ヘビイチゴ、ヤハズソウ、ヨメナ、ヨモギ等がある。畑やその周辺の植物にはオオイヌノフグリ、カキドウシ、カラスムギ、スズメノカタビラ、スズメノヤリ、ノビル、ハマズメ、ハコベ、ヒメウス、ヒメコバンソウ、ママコノシリヌグイ、ムラサキケマン、ヤエムグラ等が挙げられる。溝や水田とそのあぜ道にはアゼムシロ、イ、イヌガラシ、イヌビエ、カヤツリグサ、カズノコグサ、スズメノテッポウ、セキショウ、セリ、テンツキ、ヒエ、ミゾイチゴツナギ、ミヅコウジュ、ミツソバ、ムラサキサギゴケ等であらう。

以上の草はどこにでも普通に見ることが出来るが、平地産の珍しい物といえ、シユウメイギク(古中尾、内野)、ホタルブクロ(古中尾)、クサノオウ(倉谷)、テッポウシダ(浜崎)、コガマ(小津奈木)、ヒメウラジロ(赤崎)の植物は特筆すべき物である。ミヅコウジュは本町各地の溝周辺で見られるが、全国的には減び行く植物として注目されている。ボタニ―一九九一浜田、椎葉他

※植物名は図鑑参照
※前号の写真の見出し「ここの植物」はサイゴクホングウシダの誤りで、訂正しお詫びします。

柳迫いづも
新入社員、よく電話も馴れた新入社員、朝から母さんの見送らず新入社員、給料日の待ち長かやとて、息子ん嫁の見付かったやとて、長かこつ浪人ばしたもんね
萬葉
(次笠)こらしもた、腹一ぱい一笠二句づつ、六月八日まで役場内教育委員会社会教育係へ

彫刻と緑と文化の薫り高い、津奈木の里に、心豊かな人情味の深い人々の営みが出来るのは、三十三年前位前に、内野に生まれ七十七才で亡くなった、孝行者の千代さんの精神が、生きているのではないかと思ひます。昭和三十三年十二月六日に千代さん生誕二百九十年祭が町主催で盛大に行われましたが、その後、忘れられていたのではないかと思います。津奈木小学校の校歌に孝女のつかの松風も心にひびく、うれしさよと歌われています、意味を知って歌った卒業生がいるかどうか悲しく

り、常にやさしい気心をもつて接してこられた心掛けを大切にしたい。千代さんの公園化と、千代祭の復活、馬に乗った祖父と手綱をひいた千代さんの像を作り、後世の語り草として、子育てに役

立つたいものです。学校も、本年より、一、二年の社会と理科を一緒にして、自然を守り、動植物とのふれあいを大切にして、自分の命を大切にすることを学ぶ、生活科という学習が始

まったり、九月からは、週五日制の制度が始まり、月一回、第一土曜日が休みになります。これは、教育を学校だけに依存するこれまでの姿勢から脱却し、地域での指導性を取り戻す機会にしてほしい

子供を学校に通わせていれば、無事成長してくれるものと考えたり、しつけや道徳までも学校に依存してきた親の意識を改めるきっかけにしたいものです。子供に命をさすけた者は、従来の生活そのものを考え直し、豊かでゆとりある社会、学校を築いていくためにも、親を大切にすること、神を育てるための絶好な機会になるよう千代祭の復活と像の建立を町民の力でなすべきではないでしょうか。

み書きできるを幸せとせむ
鳥井保
仏前の蠟燭の音ジリジリと小さきほのほ外は時雨れる陽が陰る今日かとききの農作業ことなく了り妻も私も
宮崎優
「短歌一口メモ」歌う可きもの
「歌う可きでないもの」
1、自分の心にとつてどうでもよい事は歌わない。2、他人のことなど歌わない。3、自分の感情、感動で歌う。4、月並みをまねて歌わず、自己表現と美の創造を。

「分度記」を読む
薩摩街道について
「津奈木手水街道総間数三千七百三十四間、六拾貳丁七間、壱里貳拾六丁七間」が津奈木太郎峠より水俣手水境(新陽生コン前)までの距離である。
「芦北郡津奈木手水手門柱」の峠から読む。
①申〇三〇〇 貳拾貳三厘六六
②同二〇〇 拾貳二六四 一厘九三拾四度 九七〇四
以下手水境まで貳百参拾捌間を数える。この数字の羅列を次のように読む。①について 申は十二支の一つで方位を示す「子」が真北で、申は二百四十度から二百七十度まで、申〇三〇〇は貳百四十度である。「貳拾貳」は峠から第一の曲り角までの距離(勿論間であらず)で、「三厘六六」は三千六百分の一の地図作成にあたり、二拾二間の縮尺分である。②から③までは下り坂となつていて「一六四」は、坂の拾貳間の水

平距離である。「拾四度」は下り坂の角度で「九七〇四」は、下り坂拾四度のコサインの値である。これに拾貳間を掛けると一六四となる。これを分度器と縮尺で作図すると、文化年間の薩摩往還が浮びあがってくる。そのほか、いろいろな情報も記されていて、確実な位置を示してくれて、新たな発見がいっぱいの「分度記」である。

今では町の文化祭に、また、毎年水俣でのチャリティショーにも参加させてもらっています。高齢化の進む中で、ボケ防止やストレス解消、健康のためにもなり、壮快で皆んな楽しく練習しています。一週間が待ち遠しい位です。人に迷惑をかけずに残された人生を歌を唄って暮らせるなら幸せだろうと思います。(岩崎記)

ふれあいカラオケ会
私達はカラオケを始めて十年余りになります。歌うにも地区の理解や家族の協力がなくては出来ることではありません。私達の会は月に四回練習しています。会費は五百円ですが、各行事や他のカラオケ会の交流会に出費しています。一人ひとりが歌うにもそれぞれの持ち味も違うから、大変ユニークなものです。まづ、歌う人とのふれあいができて友達関係もでき、気軽に話せる様にもなり、気分転換にもつてこの様に思っています。

短歌
宮崎 優選
夕茜うする空の眉月の満つる日あらむ野路を急ぎぬ
きさらぎの木漏れ白淡きみかん園すみれの花のひそけく咲きいぬ
寺本ツルヲ
静かなる朝の空に半月の浮びし時にモズの啼き
新植の杉植え代えし夜の雨に夫の顔の喜びに満つ
福田八重子
目ざめて雨だれの音聞こえ来ぬ節分の夜の鬼は濡れいむ
夜ふけて吾が家の窓を照らす自動販売機の灯は遠く明るし
野田浦子
朝市に運ぶ荷を積み晩の道を照らして車走らす
涙して同和説かる法師なり差別の歴史かなしみつつ聞く
西澄子
溢れいるいで湯にひとり生なまし手術の跡をいたわりて居る
三又の小さきくれない集まりて春風そつとささき通る
白浜美和子
トーストと熱きコーヒーを飲む朝このひと時の小さき幸福
幼子にも言う如く白犬に代るがわるに言葉かけける
柳迫いづも
それぞれに悩み持つらん病院の待合いの人の沈める顔
癒えがたき病は持てど米寿越え説

肥後狂句
編集部整理
新入社員、朝から母さんの見送らず新入社員、給料日の待ち長かやとて、息子ん嫁の見付かったやとて、長かこつ浪人ばしたもんね
萬葉
(次笠)こらしもた、腹一ぱい一笠二句づつ、六月八日まで役場内教育委員会社会教育係へ

赤崎菊花同好会



松田 テル子さん

津奈木町文化協会

クラブ紹介

菊は、品位の高い莊重な色彩の美しさ、形状の見事さ、清澄な秋空の下にけんと咲き、日本的な風雅な印象をあててくれます。赤崎菊花同好会も、以前は、十数名いましたが、現在では五名位だけ

方、鉢も小さく、丈も低く、持ち運びも簡単な福助作り、または、ダルマ作りなど作って見られてはいかがでしょうか。ダルマ作り(参考) 福助より大きな鉢(六号、七号) けです。年輩の方が多くて、年々会員も少なくなっています。津奈木町にも、菊作りの指導をされる方がおられますと、若い方の会員も多くなるのではないかと思います。これから菊花を、自分の手で栽培して見ようと思われ

の角度で「九七〇四」は、下り坂拾四度のコサインの値である。これに拾貳間を掛けると一六四となる。これを分度器と縮尺で作図すると、文化年間の薩摩往還が浮びあがってくる。そのほか、いろいろな情報も記されていて、確実な位置を示してくれて、新たな発見がいっぱいの「分度記」である。

ナイチンゲールは、小さいときからやさしい子どもだったと思ひました。それは、お母さんについていては、まずしい家をまわったり、病気の人のかん病をしたりして、いって、苦しいでいる犬の首を、なわでしめ殺そうとしていたときのことです。そんなひどいことより、もっと犬を楽にしたい、とナイチンゲールは考えたのです。そして、ぼくは様になのひました。すると、ぼくは様は「心のこもったかんごは、お薬以上に病人を元気にすることが出来ます。」という言葉が聞こえてきました。

えてくさいました。それからナイチンゲールは、いっしょうけんめいに勉強をしました。三十才をこえてから、やっとかんごになつてくることができました。わたしは、親やみんなから反対されても、かんごになつたといううゆめをあきらめないでがんばってきたナイチンゲールのことを、えらいなあと思いました。

読書感想文 「ナイチンゲールを読んで」

平国小学校4年 福田 尚子

ナイチンゲールは、クリミア戦争でけがをした人たを助け、大臣に相談の手紙を出しました。それは、「薬と包帯が足りません。どうかめぐんでください」という手紙でした。わたしは、このことがナイチンゲールが「クリミアの天使」と呼ばれるようになったわけだと思ひました。けがをした兵隊さんたちはみんな、ナイチンゲールの熱心なかん病に感じやしてました。

この本を読んで心にこつたことが二つあります。一つは、ナイチンゲールがかんごになつたことに反対していた親も、最後にはゆるしてくれた、やさしい人だったんだなということです。もう一つは、ナイチンゲールがかんごになる決心をして、あきらめずにがんばつたことです。

